

指定管理者制度導入施設の運営状況（令和3年度）

1. 施設名等

施設名	大分港大在コンテナターミナル	所在地	大分市大字大在6番地
		電話番号	097-592-5931
		ホームページ	http://www.oitac.jp/

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 株式会社大分国際貿易センター	所在地 大分市大字大在6番地	県の所管部課 (局・室)	土木建築部 港湾課 TEL : 097-506-4614
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		

3. 施設の概要

設置年月日	平成9年1月24日
設置根拠	大分県港湾施設管理条例
設置目的	大分港大在コンテナターミナルは、東南アジア、中国、韓国を中心としたアジア貨物の東九州における物流拠点として整備した施設である。平成4年4月に整備事業に着手し、平成8年11月に供用開始した。
事業内容	①港湾施設の使用許可（工作物の設置を伴うものを除く）に関する事。 ②港湾施設の利用促進に関する事。 ③港湾施設の維持管理及び修繕に関する事。 ④①から③のほか、港湾施設の設置目的を達成するために必要な事業に関する事。
施設内容	燻蒸庫1棟(2室)、マリンハウス1棟(研修室、休憩室、便所)、ガントリークレーン2基、警備員詰所1棟、トラックスケール1基、冷凍コンセント56口、照明設備5塔、受変電所1棟、保安設備1式
使用料等	【使用料(例)】 ガントリークレーン：1回 26,500円(1時間以内) 荷さばき地(15日以内のとき)：1日 3.34円/㎡ 岸壁(総トン数50トン以上の船舶)：1トン1回 4.03円 燻蒸庫：1回 840円(1㎡) 冷凍コンセント：1口 320円(1時間) トラックスケール：1回 370円
閉館日	年中無休(365日・24時間フルオープン)

4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値		実績		達成率(%)	
安全管理率(%)	平成30年度	100		100		100.0%	
新規獲得貨物数(TEU) / 企業訪問数(社)		300 / 30	80 / 44	26.7% / 146.7%			
安全管理率(%)	令和元年度	100		100		100.0%	
新規獲得貨物数(TEU) / 企業訪問数(社)		500 / 50	2 / 50	0.4% / 100.0%			
安全管理率(%)	令和2年度	100		100		100.0%	
新規獲得貨物数(TEU) / 企業訪問数(社)		500 / 50	0 / 21	0.0% / 42.0%			
安全管理率(%)	令和3年度	100		100		100.0%	
新規獲得貨物数(TEU) / 企業訪問数(社)		500 / 50	116 / 41	23.2% / 82.0%			

5. 施設の利用状況

コンテナ取扱量 (実入、外買及び内買) (TEU)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成30年度	3,463	3,128	3,557	3,101	3,629	3,438	
	令和元年度	3,788	3,199	3,639	3,405	3,724	3,467	
	令和2年度	3,025	2,834	2,663	3,161	3,552	3,244	
	令和3年度	3,485	3,176	3,193	3,913	3,317	3,219	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成30年度	3,476	3,711	3,675	3,473	3,188	3,669	41,508
	令和元年度	3,422	3,589	3,825	3,166	3,150	3,636	42,010
	令和2年度	3,869	3,646	3,432	3,139	3,229	3,727	39,521
	令和3年度	4,480	3,313	3,746	3,176	2,959	3,501	41,478

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	「大分港大在コンテナターミナル連絡調整会議」の際に、港湾利用者から要望等の聴き取りを実施した。 (令和3年7月14日)	
	実施結果	指定管理者、コンテナターミナル利用者(鶴崎海陸運輸(株)、日本通運(株))と大分県で連絡調整会議を行った。 輸出入貨物で急な秤量が必要になったときで、指定管理者の対応が困難な場合、スポット的に利用者サイドでの計量をさせてほしいとの要望が出た。また、利用者から意見要望は出たが、指定管理者への苦情等はなかった。	
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況	
実入りコンテナ3段積みの路盤補強工事をしてほしい		令和2年度から工事実施	
Eゾーン北側の舗装が剥がれているため補修してほしい		令和3年度県予算で実施済	
ヤード内の照明が暗いため照明を替えてほしい		令和3年度県予算で実施済	
ガントリークレーンが老朽化してきているため更新してほしい		令和3年度から更新事業に着手	

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の性能検査や日常点検、月例点検、年次点検を確実にを行い良好な状態に維持管理し、365日・24時間常にサービス提供ができるよう努めた。特にガントリークレーンの修繕は、通常荷役に支障ないように常に1基が使用可能な状態を維持した。 ○ 「大分県ポートセールス実行委員会」と連携し、大分港大在コンテナターミナルを利用した際の助成制度のPR活動を行った。 ○ 大分港大在コンテナターミナル連絡調整会議を行い、利用者から直接意見の聴取を行い、意見や要望を解決できるようにサービスの向上に努めている。
-------------	---

イベント等の充実	<p>○ サービス改善提案事業として「大分港大在コンテナターミナル夏休み親子教室」を開催する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。</p> <p>○ 小学生の社会見学、インターンシップ、企業向けの施設見学受け入れ。</p>
----------	---

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入額(A)		48,544	52,411	55,236	55,917
内 訳	県からの委託料	48,544	52,411	55,236	55,917
	利用料金				
	事業収入				
	自主事業収入				
	その他				
支出額(B)		47,401	50,859	53,030	55,925
内 訳	人件費	19,337	20,444	21,534	24,422
	維持管理費	16,692	20,373	20,851	20,586
	事業費				
	自主事業費				
	その他(通信運搬費、消耗品等)	11,372	10,042	10,645	10,917
収支差額(A-B)		1,143	1,552	2,206	-8

9. 施設使用料等の収入状況

使用料(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成30年度	5,018	4,843	5,114	4,742	5,060	5,112	
	令和元年度	5,197	5,255	5,711	5,952	6,075	6,936	
	令和2年度	6,290	6,090	5,739	5,998	6,455	7,096	
	令和3年度	6,661	6,123	6,001	6,754	5,929	5,748	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成30年度	5,088	5,281	5,547	5,598	5,154	5,562	62,119
	令和元年度	6,516	6,445	6,949	6,464	6,486	6,831	74,817
	令和2年度	7,035	6,686	6,566	6,039	5,924	7,623	77,541
	令和3年度	6,852	6,051	6,514	6,517	5,232	6,051	74,433

10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制	統括管理者(1・嘱託職員) 総務スタッフ(2・正規職員) 技術スタッフ(2・正規職員)							
	職員数 (R4.4.1)	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他	合計
	4					1	5	

11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	技術スタッフの育成には力を入れており、1級コンテナクレーン運転資格や港湾荷役に不可欠な陸上無線技師資格などコンテナターミナルの運営管理に必要な資格を取得させている。
防災に関する研修・訓練	毎年1月に防災訓練(地震と津波)を実施するとともに、消火器を使った消火訓練も実施している。
安全対策等	「大分港大在コンテナターミナル安全作業基準」の遵守を徹底させるとともに台風災害や設備事故には、緊急連絡網を活用し、適宜、適切な措置を講じられるよう体制を整えている。